

震災 と 意志 について

— 復興のあとに残すもの —

三浦 隆弘
(地域を耕すひと)



× 栗林 美知子 ×
(一緒に頑張るひと)



桃生 和成
(背中を押すひと)



わたしたちは、あの「分かち合う」かんじを
持ち続けていくことができるのだろうか？

震災で大きなしくみの機能が停止したあと、地域では自分たちの意志により、自分たちのできる範囲で、さまざまな取組が生まれました。本企画では地域で多彩な活躍をされているゲストを迎えて、震災後の活動や今後の展望を聴き、震災後の意志のはたらきと大きなしくみの飛び越えかたについて迫り、「復興のあとに残すもの」について考えていきます。

日 | 2 0 1 7 年 2 月 9 日 (木)
時 | 1 4 時 4 5 分 ~ 1 6 時 4 5 分

会 | せんだいメディアテーク
場 | 7階 スタジオシアター
仙台市青葉区春日町2-1

入 場 無 料 ・ 申 込 不 要

ゲ ス ト プ ロ フ ィ ー ル



三浦 隆弘 (みうら たかひろ)

農家 なとり農と自然のがっこう主宰。

1979年宮城県名取市下余田地区生まれ、同地区在住。

環境保全や有機農業、食育NPOなどに暗躍するセリ、ミョウガタケ、エダマメが主力品目の伝統野菜を栽培するCSAヲタク農家。とある就労継続支援事業B型事業所の丁稚奉公として農作業や有機八百屋運営などにも携わる。

震災を機にterra mks-5とradex rd1706、更にFLUKE 451Pを携え各所に潜伏。

地域の料理人とともに生み出したせり鍋は仙台の冬の名物となっている。



栗林 美知子 (くりばやし みちこ)

NPO法人ウィメンズアイ 事務局長 かもしか文庫主宰。

震災後、災害ボランティアを機に、NPO法人ウィメンズアイの立ち上げに参加。登米市へ移住。これまで南三陸町を中心に「テクテクめぐる縁がわアート」や「ひころマルシェ」など地域の人びととイベントを企画運営してきた。現在、同町内に女性たちがやりがいをもって働けるパン・菓子工房を立ち上げるための資金をクラウドファンディングにて募集中。

2015年より町の本好きたちが集まり「みなみさんりくブックス」という本にまつわる活動を展開している。

パン好き、天敵はカメムシ。



桃生 和成 (ものう かずしげ)

一般社団法人Granny Rideto 代表 つれづれ団団長。

1982年宮城県仙台市生まれ。

利府駅前のコワーキングスペース「tsumiki」の企画運営や仙台市青葉区春日町にあるシェアオフィス「THE 6」のディレクションに携わる。

東北に約390名の団員がいる東北をおもしろくする活動体「つれづれ団」の団長としても暗躍中。

震災後、祖母・まさこと二人暮らしの自宅にて友人たちとの奇妙な共同生活を行っていた。

口癖は「常に心にユーモアを」。

三浦さんのせり鍋ムーブメントの仕込みなど農業と食を通じた活動、栗林さんの縁がわアートや私設の図書館づくり、桃生さんの人が交わる場づくりや謎の団体の運営は大きなしゅみに寄りかからず、軽やかにそれを飛び越えているように見えます。当日は持てる限りのユーモアをかき集めて、素敵な発見のある楽しい時間にできればと思っています。お気軽にお越しください。